

平成 29 年度 第 1 回 ウェルネスプランかこがわ策定委員会
議事録

開催日時	平成 29 年 6 月 27 日 (火) 午後 1 時 30 分～午後 3 時
開催場所	加古川市議会 議場棟 2 階 第一委員会室
出席者 (委員)	枝川委員 (委員長)、富永委員 (副委員長)、中野委員、笠谷委員、神代委員、 田村委員、前島委員、丸山委員、北野委員、魚住委員、高瀬委員、春藤委員、 勝山委員、西谷委員
欠席者	なし
事務局	加古川市福祉部 健康課
策定支援 事業者	株式会社 関西計画技術研究所
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 委員紹介 4 事務局紹介 5 委員長、副委員長選出 6 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) ウェルネスプランかこがわの概要及び計画の位置づけについて (2) 今後のスケジュールについて (3) アンケート調査について 7 その他 8 閉会
資 料	<p>第 1 回 ウェルネスプラン策定委員会 資料</p> <p>資料 1 : ウェルネスプランかこがわ策定委員会委員名簿</p> <p>資料 2 : ウェルネスプランかこがわ策定委員会事務局名簿</p> <p>資料 3 : ウェルネスプランかこがわ 概要版</p> <p>資料 4 : 国 第 3 次食育推進計画 概要版</p> <p>資料 5 : 健康増進計画・食育推進計画策定にかかる県の動向</p> <p>資料 6 : ウェルネスプランかこがわ策定スケジュール</p> <p>資料 7 : ウェルネスプランかこがわ策定にかかるアンケート調査について</p> <p>資料 8 : 「食」と「健康」についてのアンケート調査 (案)</p> <p>資料 9 : アンケート調査票 項目一覧表</p> <p>参考資料 1 : ウェルネスプランかこがわ策定委員会規則</p> <p>参考資料 2 : ウェルネスプランかこがわ策定委員会傍聴基準</p>

議事内容（発言者、発言内容、経過等）	
事務局 委員	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 委員紹介 4 事務局紹介 5 委員長、副委員長選出 6 議事
事務局	<p>議事①ウェルネスプランかこがわの概要及び計画の位置づけについて 「ウェルネスプランかこがわ冊子」と「資料3・4・5」に基づき説明。</p>
委員	<p>「ウェルネス」という言葉自身が、確実に定着しているとは思えません。もう少し簡単な、短い言葉で、日本語の説明があればいいと思います。まだ馴染んでないのではないかというのが個人的な意見です。</p>
事務局	<p>平成12年に加古川市が「ウェルネス都市宣言」を行い、すでに10年以上が経っています。「ウェルネス」を簡単に言うと「心も体も健康に」という意味で、私どもは捉えております。</p>
委員	<p>1点目に、県の計画を受けて、ウェルネスプランかこがわを作成されていますが、加古川市の独自性はあるのでしょうか。2点目として、食育の目的は何でしょうか。医療費の削減や介護費の削減など、そういうことまで考えられているのでしょうか。</p>
事務局	<p>1点目の加古川市の独自性については、国民健康保険加入者による特定健診受診結果から、平成26年度、平成27年度では、糖尿病又は糖尿病のリスクのある方が多く、県下ワースト1、ワースト2という状況にあります。食生活については、野菜の摂取不足で、1日350gが目標の摂取量ですが、加古川市民の方は100gほど取れていないという状況があります。また、運動については、歩数が10年前と比較して1日2,000歩ほど減っているという状況もあります。そういった健康課題が要因ではないかと事務局は考えており、それを踏まえてアンケート調査を行い、計画策定を行いたいと思います。</p> <p>2点目の食育の定義は、まず一つ目に「生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの」として位置付けられています。二つ目は「様々な経験を通じて『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てるもの」と定義されています。健康の3本柱の中でも「栄養・運動・休養」と言われていますように、食事も大事な柱ではないかと考えております。</p>
委員	<p>糖尿病について医師会から補足説明をしたいと思います。糖尿病は、ヘモグロビンA1c検査で6.5%以上ですが、5.6%以上の人も特定健診の糖尿病有所見</p>

委員	<p>率の中に入っています。測定方法によって検査値が 0.2～0.4 くらいは違うのではないかというのが専門家の意見になっています。検査方法によって測定の基準値が違うということに対して、国、もしくは糖尿病学会の方が標準化するという宣言していますので、今後解決すると思います。ただ、前年に比べて有所見率が上がっているところは大きな課題です。これに対しては加古川市でもすでに取り組みがされていますし、医師会でも独自に取り組んでいます。その中で、検査値は地域差があると承知の上で資料を読んでもらいたくと思います。</p> <p>糖尿病のリスクのある人が他市に比べて多いという課題をもう少し明確に市民へ周知するべきではないでしょうか。市民の方にわかりやすくというのが基本だと思います。</p>
事務局	<p>議事（2）今後のスケジュールについて 「資料6」に基づき説明。</p> <p>策定委員会のスケジュールですが、第2回は10月17日（火曜日）午後からを予定しています。内容は、アンケート集計結果及び分析結果として、第2次健康増進計画中間評価及び食育推進計画最終評価を報告する予定です。また、食育推進計画最終評価を踏まえた次期計画の骨子案についてご審議いただきたいと思います。第3回は11月28日（火曜日）午後からを予定しています。内容は、計画素案についてご審議いただきたいと思います。計画素案は、市民の意見を広く反映させるために、12月下旬から1月にかけて約1ヶ月間、パブリックコメントを実施する予定です。第4回は翌年2月下旬頃を予定しています。内容は、パブリックコメントを反映させた形での最終の計画案をご審議いただき、今年度中の計画完成を予定しています。</p> <p>アンケートの調査対象は、一般市民対象、乳幼児保護者対象、小学生対象、中高生対象の4つを考えています。7月上旬から乳幼児保護者、小・中・高生を対象にアンケート調査を実施し、7月中旬の回収を予定しています。また、7月中旬に一般市民対象にアンケート調査を実施し、回答締め切りは7月末とし、8月から9月にかけてアンケート分析を行う予定です。</p>
事務局	<p>議事（3）アンケート調査について 「資料7・資料8・資料9」に基づき、アンケート調査の趣旨及び対象者、スケジュール、アンケート項目の追加・削除等を説明。</p>
委員	<p>小学生対象アンケートの設問で、問7だけは誰について聞いているのか書かれていません。ここにも「あなたは」と揃えられた方が分かりやすいと思います。</p>
事務局	<p>そのようにさせていただきます。</p>
委員	<p>一般市民の方5,000人で無作為抽出という考え方は、年齢構成にバランスがとれ</p>

事務局	<p>ているのでしょうか。また分析時に、生活習慣病などに注意して健康管理をして欲しいけど仕事が忙しくてなかなか出来ない40～50代と、70歳以上の高齢者では、運動の設問1つにしても回答が少し違ってくるのではないかと思います。今回のアンケートに限らず、特に後期高齢者の健康に関する状況を把握して頂ければと思います。</p> <p>一般市民は、18歳以上の幅広い方々に対しての設問になっておりますが、今後設問項目や分析についても検討していきたいと思っております。</p>
委員	<p>前回のアンケート調査で一般市民の回収率が43%となっておりますが、低いのではないのでしょうか。回収方法を少し工夫してみてもどうかと思います。一般的にアンケート調査となると、このようなものなのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>通常、無作為抽出であれば40%というのは非常に高いです。30%を超えれば成功なので、この43%というのは比較的高い回収率であると認識しています。</p>
委員	<p>アンケートの年齢層はどうだったのでしょうか。</p>
事務局	<p>前回、回収したアンケート調査票のうち、60代が約20%、70代が16%、50代が13%、30代が13%、一番低いのは10代、80代、20代が一桁となっております。</p>
委員	<p>一般市民をまとめて解析するだけでなく、年齢構成を考えて傾向に差がないかアンケートを回収した後の解析の中で検討をお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>乳幼児のアンケート調査についてですが、小学生・中高生のアンケート調査票の中にはメディア利用状況の内容が入っているのですが、5歳の子ども達にもすでにメディアの影響はあるかと思います。メディア利用状況の内容を追加してみてもどうでしょうか。また、外食についても食育の中で考える必要があるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>メディアの利用状況については、今回小学生、中高生に対して加古川市独自で追加項目としています。今の子どもたちを見ると、常にスマートフォンや携帯を触っていたり、ゲームの時間も長くなってきていることや低年齢化しているという事に関しては、事務局としても感じているところです。ただ設問数とスペースの問題もあり、今年度は食育推進計画の次期計画策定にあたって優先順位をつけ追加はしませんでした。事務局の中で一度検討させていただきます。</p> <p>外食については、計画書の冊子119、120ページをご覧ください。前回の調査では、外食・中食の利用状況をアンケートで把握しました。ここでは、小学生、中高生を対象にしており、乳幼児保護者に対しては把握していません。小学生、中高生の中で外食・中食が多いのではないかとこのアンケートをとりましたが、これで大体の現状が把握できたということもあり、今回は外食・中食の利用状況についてはアンケートから省いています。乳幼児保護者では、現状把握が出来ていないこともあり、項目を追加するかという事</p>

	<p>についても検討させていただきます。</p>
委員	<p>小さい子どもがビデオやゲームで遊びすぎると、バーチャルの世界と実際の世界の区別が出来ないまま育つと言われていています。小さいころの子どもの育て方、接し方という部分にはとても大事なことを考えます。人間を育てるという部分でも、メディアを大人が使うのと小さい子どもに使わせることでは、全然違う問題があると思います。</p>
委員	<p>小学校などでインターネットトラブル防止講座を行ったのですが、インターネットの低年齢化は問題です。幼稚園や保育園の子どもも、そういう環境にある事を視野に入れる必要があると思います。</p>
委員	<p>ベジ・ファーストについての質問です。肥満や糖尿病の予防という観点ではとても有効なのだと思います。しかし、一般市民の中には、高齢者で低栄養の方もいらっしゃるのではないかと思います。そういった方がアンケートを見て、ベジ・ファーストを自分もやれば良いと思われる、逆効果ではないでしょうか。勘違いされる方が出ないように工夫が必要だと思います。</p>
事務局	<p>ベジ・ファーストの注釈に、ベジ・ファーストは腎機能の低下がある方や低栄養の問題がある方については、注意をするという旨を追記したいと思います。また、高齢者の低栄養については、一般市民のアンケートの5ページ問27で、食品の項目ごとに摂取頻度を調査しており、低栄養の対策なども考えていきたいと思っています。</p>
委員	<p>近ごろは食生活も変わってきていると感じます。体に良いものの紹介もしていますが、健康というキーワードだけではなかなか牽引できず、利便性や美味しい、美味しくないの判断で流されるところがあると感じます。</p>
委員	<p>資料3の6ページに、加古川市の主な特産品が記載されています。地元の子ども達にも作業の状況などを見てもらうことや、地産地消として加古川市の学校給食などにも使って頂けたら非常に嬉しいと思います。</p>
委員	<p>「歯ぐきの状態や食べ方・しゃべり方についてお答えください」という設問の中で「①歯ぐきのはれている」という項目があるのですが、今は腫れていなくても少し前まで腫れていたとか、良くなったり悪くなったりを繰り返している人はどうなるのでしょうか。</p>
委員	<p>歯ぐきが腫れているという設問項目は県と統一されていると思うのですが、もし入れられるなら過去の経験も聞けるような設問がよいと考えます。アンケート質問項目の中に、オーラルフレイルの予備軍を見つける項目があり、高齢者を対象にする設問があると、より発見につながるのではないかなと考えます。</p>

委員	食品ロスについての対応が気になります。生活の中ではゴミも出ますので、もっと市民に浸透するように徹底していくことが必要かと思います。また、今はサプリメントの活用も多くなっていますが、これに対してはどうでしょうか。
委員	健康に対する意識は高く、野菜を摂った方がいいということも分かっているけれど、野菜を摂れていないという不安を抱えているからサプリメントや青汁で不足分が補えると考える人もいると思います。ただ、それで摂ることが出来ていたら、このように生活習慣病は増えていません。きちんと自分の口で嚙んで消化吸収するということが、「食べる」ということで、食事はお薬とは違うので、すぐに良くはならないという事を、きちんと伝えていくことが大切だと思います。
委員	アンケート調査について、一般市民の方は無作為抽出ということでしたが、その他はどのように対象者を決めていますか。
事務局	乳幼児保護者の選定については、公立保育園、法人保育園、私立幼稚園に分け、地域に偏らないよう実施する予定です。小中学生に関しては、学校教育課を通して選んで頂きます。高校生は、東西南北の高校から約100名ずつ依頼する予定です。
委員	食事マナーについてですが、最近では一人ずつ盛り付けすることが少なく、大皿で出して好きなものを好きなだけ食べるという家庭が多くなっていると感じます。日本の個の食文化を大切にする部分が薄れていることや、食事の量も自分の好きなだけ食べるので残さず食べるという部分が欠落していると思います。一人ずつ食事の量を適量盛り付けているかという設問の追加も検討してください。
委員	これをもって、本日の議事を終了したいと思います。
事務局	7 その他
事務局	8 閉会